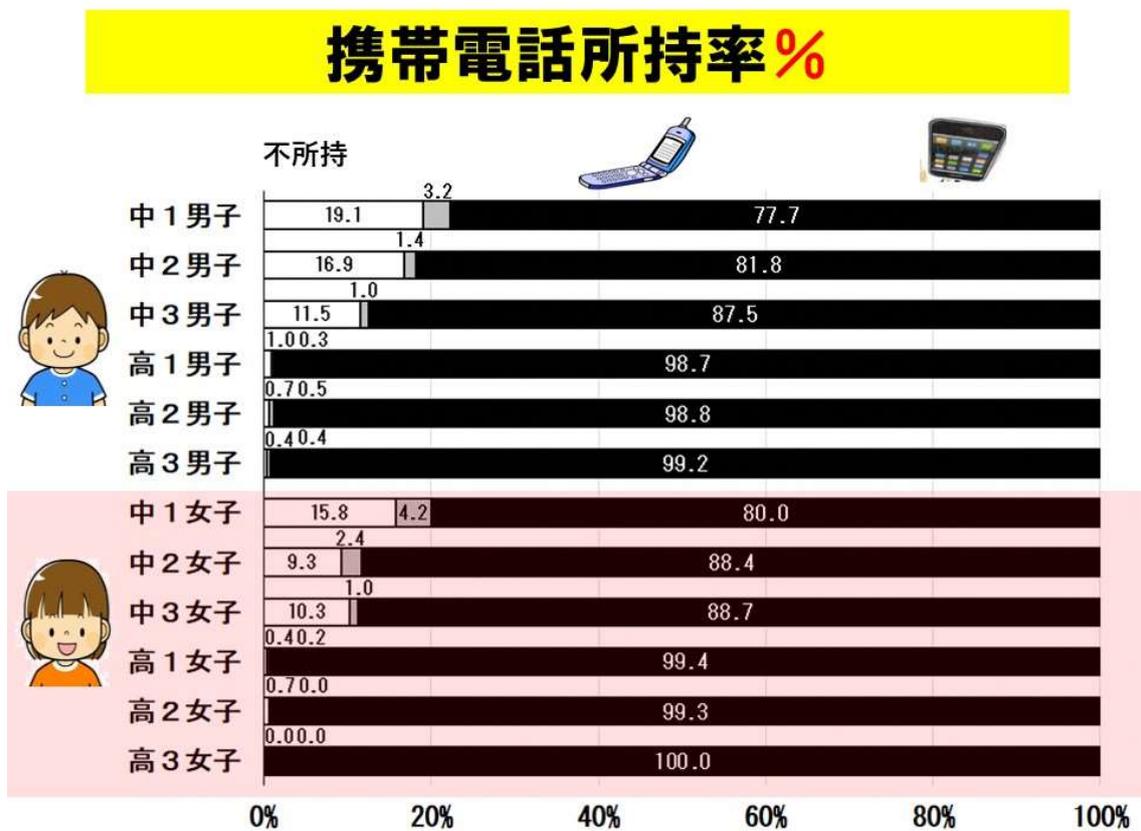


インターネット利用に関するアンケート結果

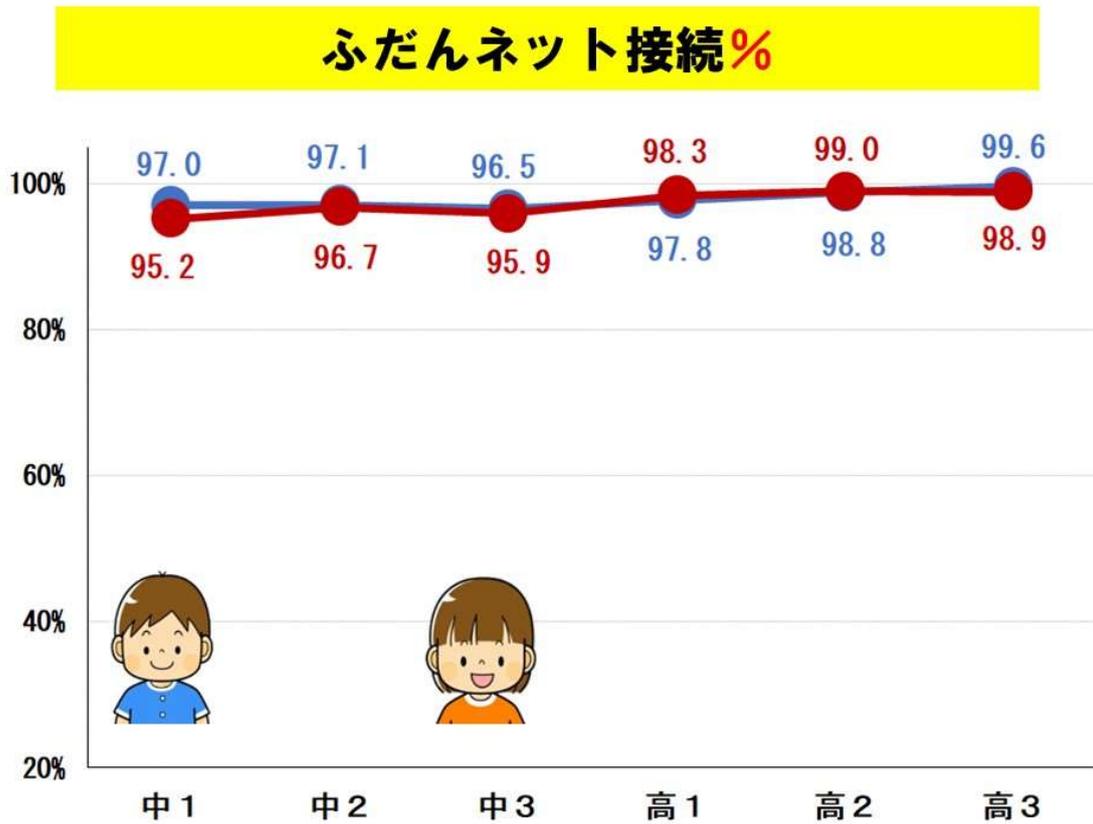
学年・男女別携帯電話所持率



中1男子で、すでに77.7%もあり、学年が上がる毎にスマートフォン等の携帯電話の所持率は上がります。

特に、男女とも高校1年生での所持率が一気に上がっています。

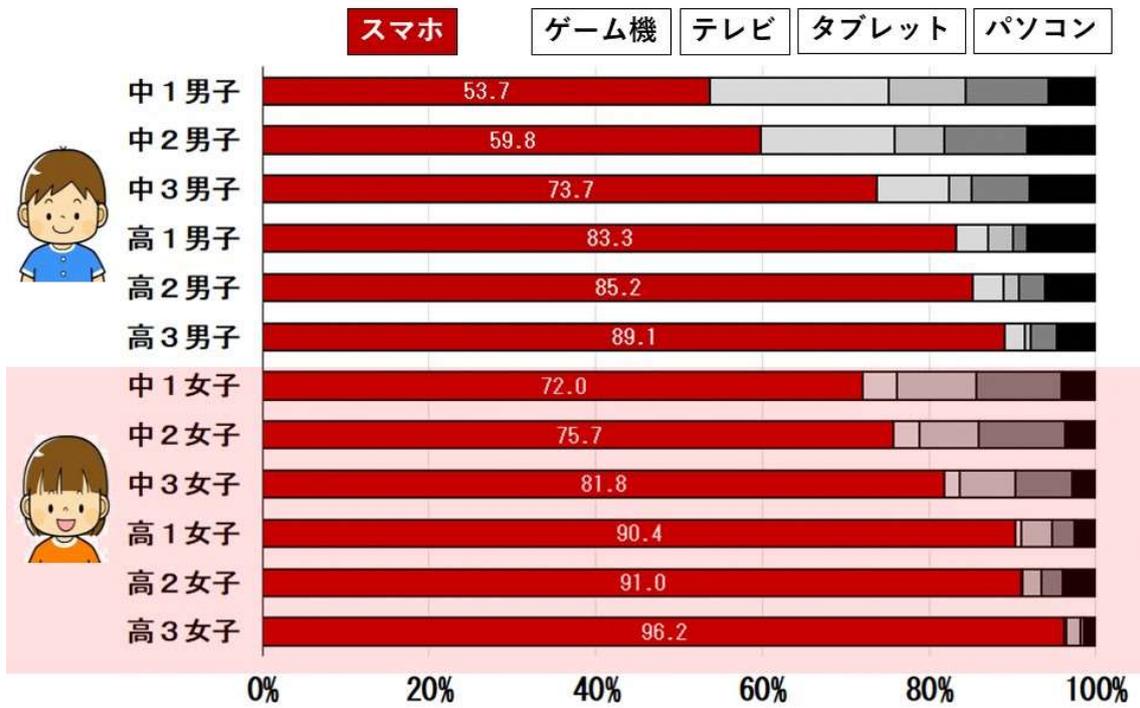
インターネットの接続状況



男女とも中学1年生から高い割合でインターネットを使っています。
中学生や高校生がインターネットを使うことは、当たり前のことになっています。

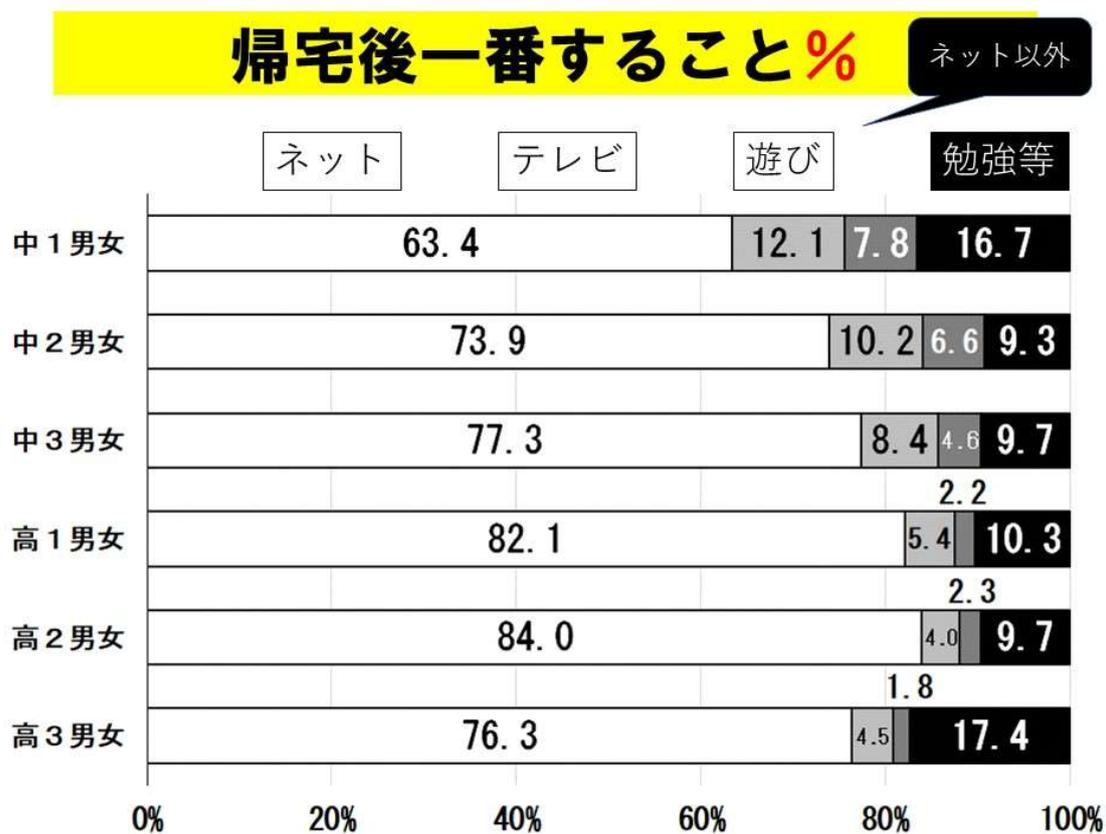
インターネットに一番接続する機器

一番ネット接続する機器



中学1年生から、スマートフォンがインターネットに一番接続する機器になっています。
高校生になるとその割合は8割以上になります。

帰宅後一番すること



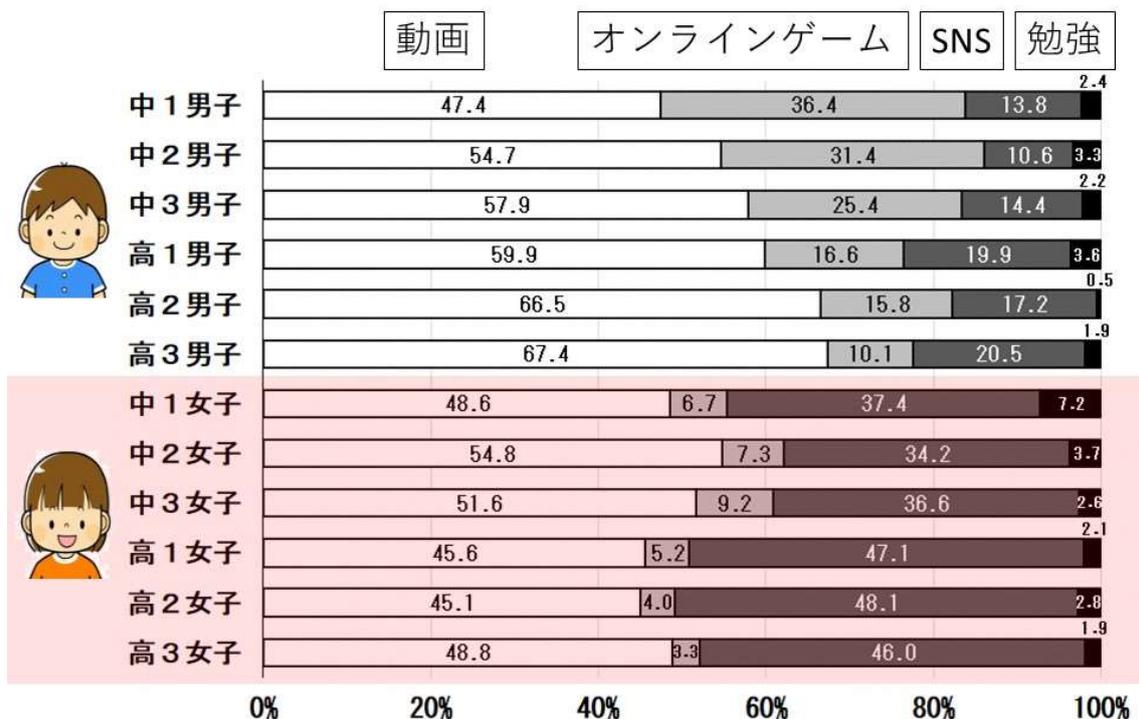
男女とも中学1年生の時点からインターネットが家で一番することになっています。

中3、高3の受験生でさえ、ネットが中心です。

高3で、勉強（オンライン学習を含む）が増えますが、それでも76.3%がネット（オンライン学習は含まない）が一番となっています。

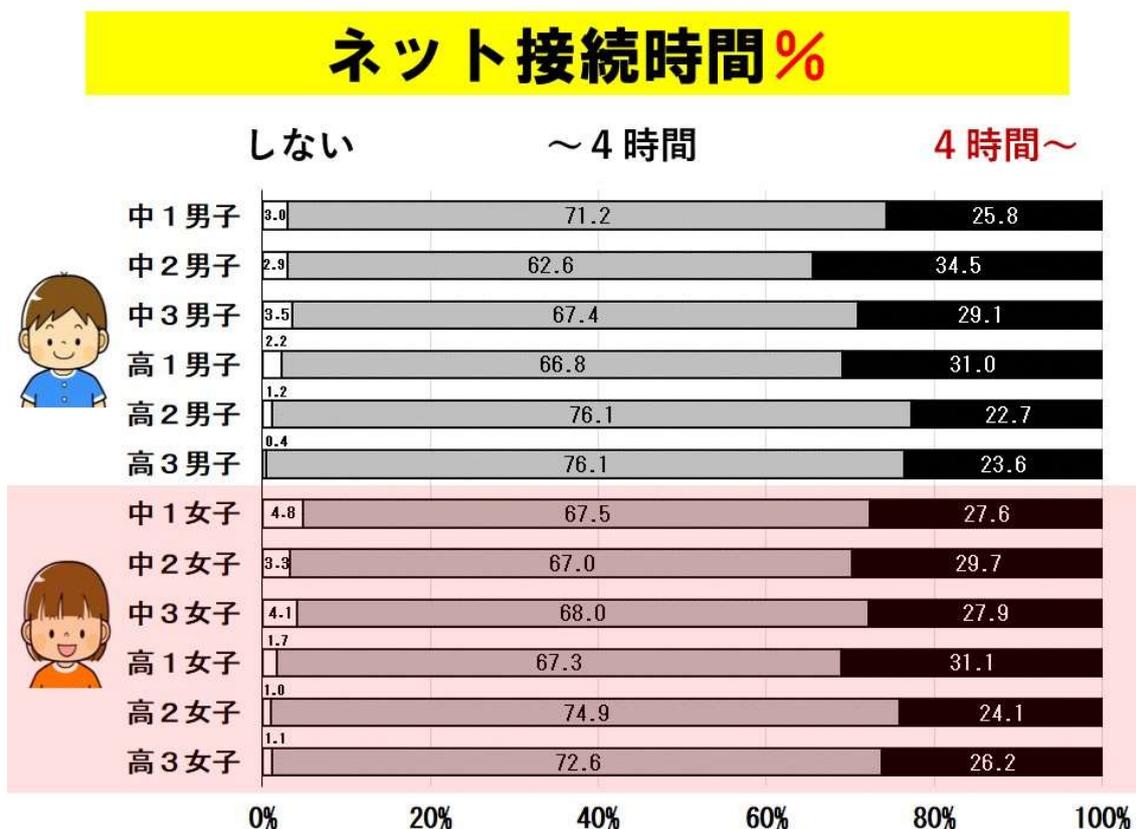
インターネットで一番すること

ネットで一番すること%



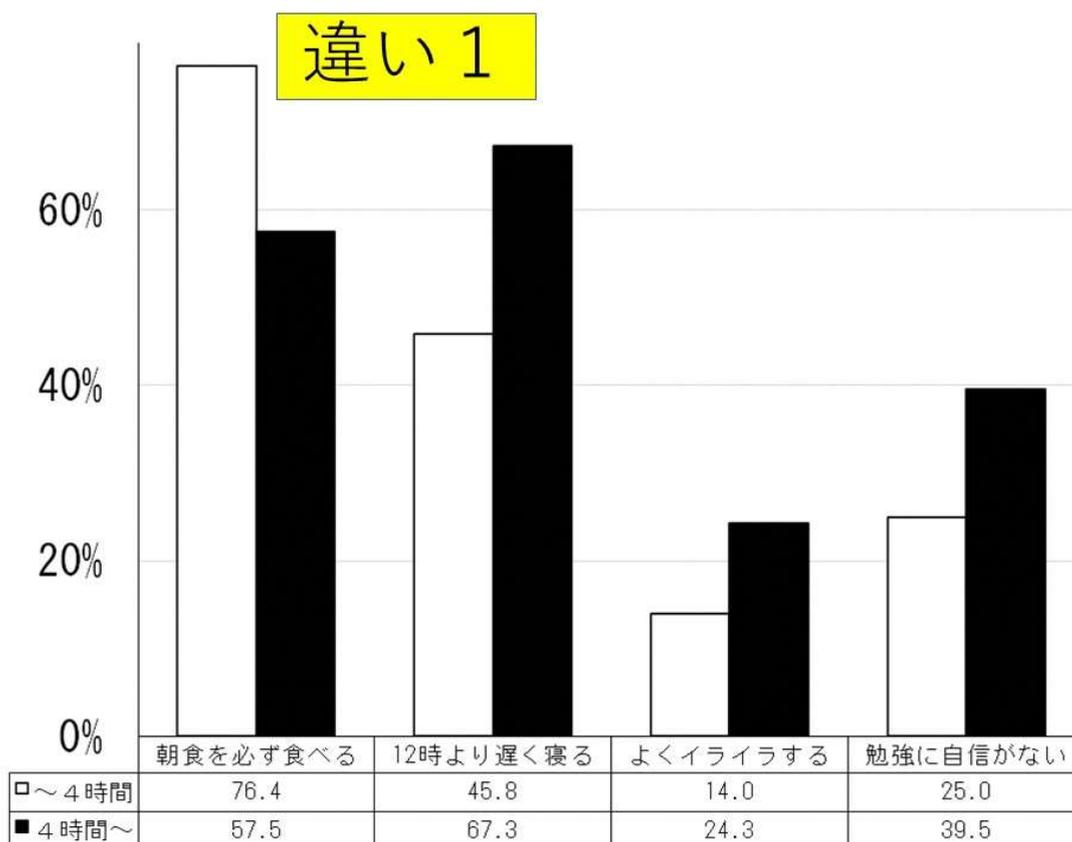
男女とも動画の視聴が1番多いのですが、2番目に多いのは男子はオンラインゲーム、女子はSNSが多いという特徴があります。

インターネット接続時間



どの学年も25%ほど4時間以上インターネットを使う人がいます。
つまり、4人に1人が4時間以上使っていることになります。

インターネットの利用が1日あたり4時間までの人とそれ以上の人との比較①



インターネットを4時間以上使う人は、4時間までの人より、

- ・ 朝食を食べない
- ・ 夜遅くに寝る
- ・ よくイライラする
- ・ 勉強に自信がない

など、生活面や勉強面に影響が及んでいるようです。

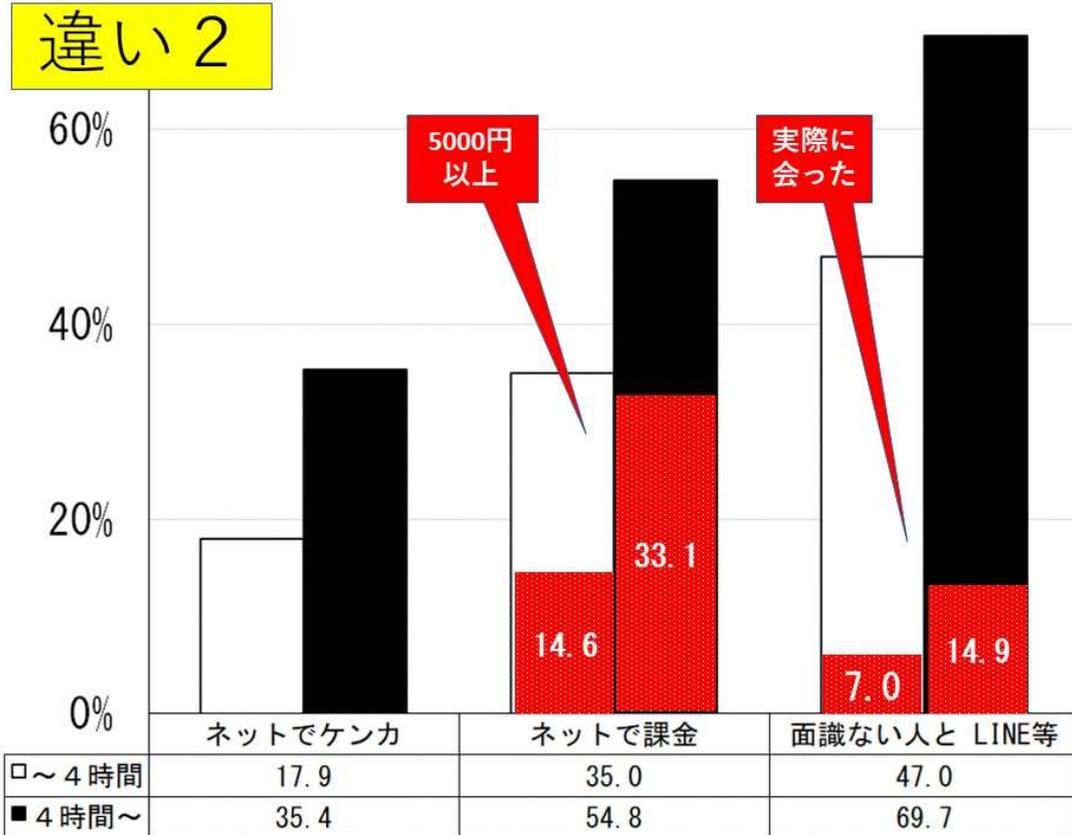
フォーラムの事前学習会に参加した生徒達は、この結果を知り

「悪循環」

- ・ ネットを長時間することで、睡眠不足でイライラする。
- ・ イライラするから勉強に集中できず、成績が悪くなって叱られる。
- ・ 叱られて、さらにイライラする・・・

と考えました。

インターネットの利用が1日あたり4時間までの人とそれ以上の人の比較②



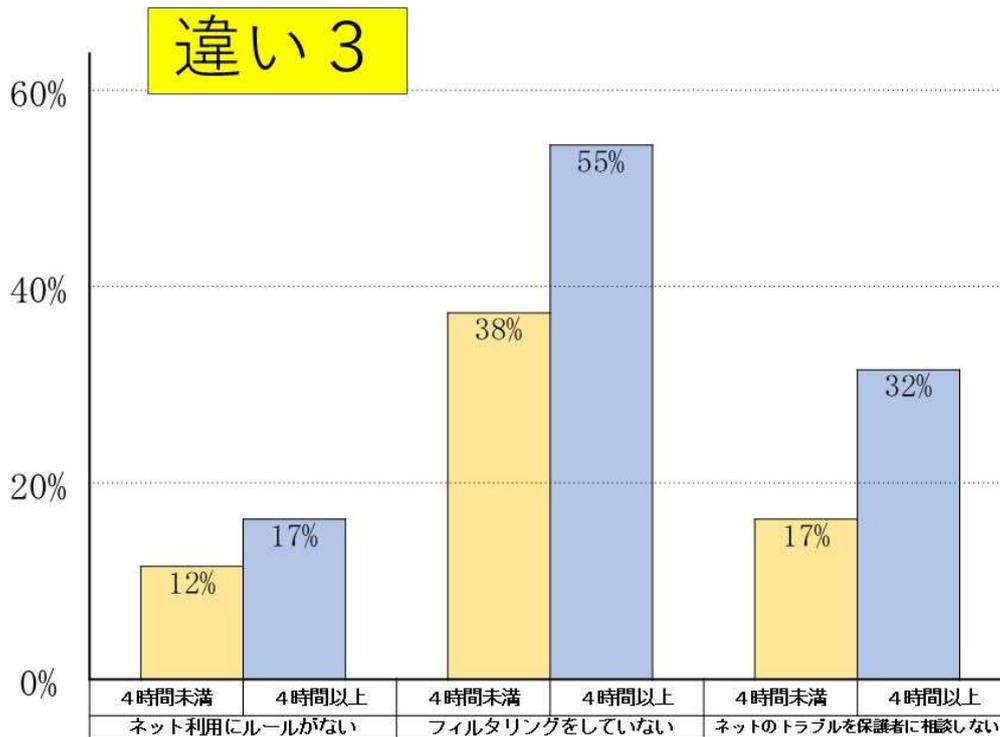
インターネットを4時間以上使う人は、

- ・ ネットでケンカをする
- ・ 課金をする
- ・ 知らない人とSNSでやり取りする

割合が高く、危険が増えています。

中でも注意する必要があるのは、面識がない人と実際に会う割合が高いことです。

インターネットの利用が1日あたり4時間までの人とそれ以上の人との比較③

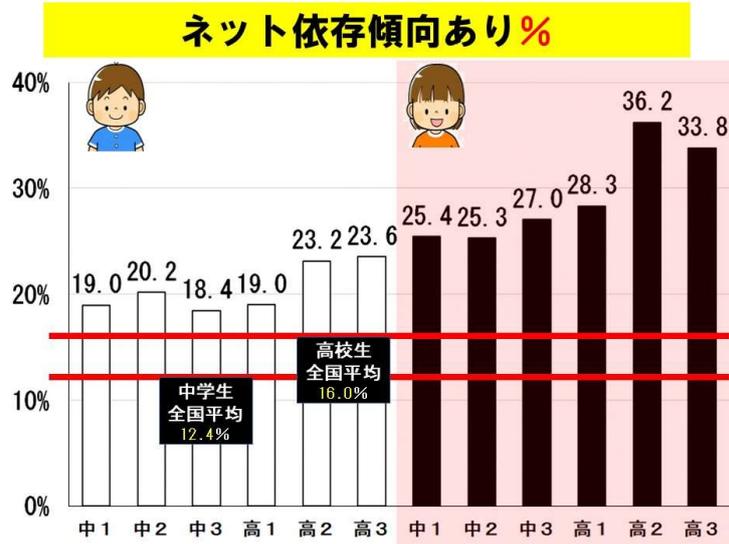


インターネットを4時間以上使う人は、さまざまな危険が増えているにもかかわらず、

- ・ 保護者との間に、ネットを使う上でのルールがない割合が高い
- ・ 半数以上の人フィルタリングを使っていない
- ・ ネットでトラブルになっても、保護者に相談しない割合が高い

ことがわかります。

ネット依存



ネット依存傾向あり%

全国中学校平均 12.4%

2018年

京都府 2022年

中学校 22.7%

高等学校 27.8%

実施したアンケート項目に取り入れたある8個の質問に、該当するものが多いほど、ネット依存の傾向があると分析されました。

※ 0～2 低度、3～4 危険、5以上 依存？

これによると、5以上のネット依存の傾向にある人の割合が、中学生で22.7%、高校生で27.8%となっており、新型コロナウイルス感染症対策などで、家にいる時間が長かったので、一概に比べられませんが、4年前の全国平均を上回っています。

ネットの使い方を考え直さなければいけない時期にきていると考えます。